

Buddycom、次世代の予防医療を提供する慶應義塾大学 予防医療センターで導入 ～一人ひとりに寄り添った対応・プライバシーを考慮した快適な施設づくりに～

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 秀一）が提供するデスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」は、この度、慶應義塾大学予防医療センターにて導入されたことをお知らせします。



【導入の背景】

慶應義塾大学予防医療センターの人間ドックは、単に検査を行うだけでなく、検査前後に医師・看護師・予防医療コーディネーターによる「聴く」「問いかける」といった対話を軸としながら、お一人おひとりの心身の状態や生活習慣、価値観に応じた「パーソナライズド・ドック」を提供しております。パーソナライズド・ドックの提供に当たっては、チームサポート制による丁寧なフォローアップを行っているほか、快適にお過ごしいただくために、プライバシーを考慮したコンセプトにて施設を設計し、運営しております。

Buddycom は、スタッフが綿密に連携して丁寧に、またプライバシーに考慮したサービスを提供することを目的にご導入いただきました。利用シーンとしては、ご来院・ご案内時の受付と各スタッフ間の連携、コントロールデスクとコンシェルジュ間にて次の検査の指示や、当日の問診内容や体調によって検査内容に変更があった時の連絡手段などに使用いただいております。また音声だけではなくチャット画面で文字や画像を用いて、一日のスケジュール、お客様情報、診察・検査部屋のご利用状況なども共有しています。

【エンドースメント】

・慶應義塾大学 予防医療センター 山田氏

本センターは2023年11月に拡張移転したため、離れたスタッフ間でも緊密に連携を取り、高いサービスレベルを提供できるように、Buddycomを導入しました。以前は内線電話やPHSを利用していましたが、Buddycomならどこでも・一斉に連携できるため、対応品質の向上につながっています。

今後は、新サービスである Buddycom ベルを活用することで、お客様からのスタッフ呼び出しも 1 つのツールで管理して、より丁寧なフォローアップができるよう検討してまいります。

■ Buddycom とは (<https://www.buddycom.net/ja/index.html>)



デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。

利用実績では、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種でのコミュニケーション手段として利用されています。

慶應義塾大学予防医療センター について

慶應義塾大学予防医療センターは、次世代の予防医療サービスを提供することで、誰もが健康寿命を延伸し、生涯にわたってウェルネス、ウェルビーイングを実現できる社会の実現を目指しています。高度な専門スキルを持つ医療チームが一丸となり、受診者一人ひとりの異なる価値観を尊重し、不安や希望に寄り添いながら、それぞれのライフスタイルに応じて生活習慣などを改善するアドバイスをしています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「世界中の人々を美しくつなげる」をミッションとして掲げ、デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」を提供しています。「Buddycom」は既に 1,000 社を超えるお客様の現場で活用されており、音声のみならず、テキスト、画像、動画、位置情報、AI などを活用することにより、あらゆる業種・業界のミッションクリティカルな現場において、新たなチームコミュニケーションを可能にするホリゾンタル×SaaS アプリケーションです。

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 5 千万円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://www.buddycom.net/>